

東京音楽大学吹奏楽アカデミー専攻生と講師による

秋学期修了演奏会

2019 年 12 月 11 日

100 周年記念ホール

今年 4 月に開講した吹奏楽アカデミー専攻はスタートから 8 か月が経過し、12 月 11 日に秋学期修了演奏会が行われました。今回のプログラムのテーマは「民族舞曲」。学生たちは春学期からさらに成長した演奏を披露しました。曲が終わるとブラボーという大きな歓声が上がる場面も。特に西村朗教授が作曲した『秘儀Ⅱ』は、吹奏楽アカデミー専攻の 1 年生のみで演奏されましたが（打楽器は 4 パート必要なため一部教員が担当）、その完成度の高さに会場からは大きな拍手が湧きおこりました。最後は下野竜也特任教授の、未来永劫吹奏楽アカデミーのアンコール曲になるという曲目紹介で「ナイルの守り」が演奏され、コンサートを荘厳に締めくくりました。学生たちの成長がますます楽しみになる演奏会でした。



下野竜也特任教授

日本中で吹奏楽は愛されておりますが、その指導者を、吹奏楽にフォーカスして学ぶというのはなかなか行われてないことです。第一期生が日に日に成長していく姿をこれからも見守ってください。

小串俊寿教授

この4月に開講しました吹奏楽アカデミー専攻ですが、丸8か月たちました。今聴いておわかりだと思いますがさらにパワーアップしています。我々教員も学生たちの夢を叶えるために、これからも指導していきたいと思います。

外園祥一郎教授

今回は民族舞曲をテーマに構成しました。学生はみんなそうですが、最初はアンサンブルが成立しなくて大丈夫かと心配した部分もあります。しかしこんなにも立派に演奏する姿を見てうれしくなりました。

中橋愛生准教授

今年で日本に吹奏楽が来て丁度150年という節目の年です。そんな記念すべき年に、我々が吹奏楽アカデミー専攻を開講しためぐりあわせを、今日の演奏会であらためて感じました。



東京都内の高校生

『秘儀Ⅱ』を部活で演奏しています。今日は部活を指導してくださっている外部講師の方にすすめられて来ました。すばらしかったです。とても感動しました。

ご来場の一般女性

舞曲という演目のくくりがとてもよかったです。音のバランスもとてもよかった。私も吹奏楽団でフルートを吹いていますが、各楽器の聴こえづらい低音部も後ろの席までよく響いていてすごいなと思いました。

東京消防庁音楽隊前隊長 五十嵐清さん

授業でも拝見しましたが、そこから立派に成長されて、学生たちだけの演奏がとくによかったです。私は天野正道客員教授の曲である『雫』を委嘱し初演しましたが、すばらしい編曲になっていました。これからも吹奏楽のよさを日本に、世界に、どんどん発信してほしいと思います。

曲目

グラナドス/スペイン舞曲集より抜粋

西村朗/秘儀Ⅱ～7 声部の管楽オーケストラと4人の打楽器奏者のための～

天野正道/雫

バルトーク/ルーマニア民族舞曲

トゥリーナ/幻想舞曲集より抜粋

－アンコール－

日本民謡「八木節」

アルフォード/ナイルの守り